

復興五輪に向けた今後の取組について

(1) 競技大会の円滑な運営

- ・ 競技会場の整備、沿道の装飾、輸送計画の検討
- ・ 聖火リレーや「復興の火」の具体的内容（コース、ランナー、セレブレーション等）の検討

(2) 選手村等における食材調達への対応

- ・ 大会期間中の食材の需要量を踏まえ、一定のロットを安定的に供給する生産・流通体制の構築（食材提供受託事業者と連携）
- ・ 各県における県GAP等の取得促進や、GAP認証品を中心とする被災地食材のPRの機会の創出等

(3) 復興「ありがとう」ホストタウンへの更なる登録

(4) 水素活用の推進

- ・ 水素社会の実現に向け、福島県で製造される水素の積極的活用等の推進

(5) 情報発信・インバウンド等に関する取組の推進

- ・ 大会を契機とした被災地への観光客誘引の方策検討
- ・ 復興の情報発信に関する内容の検討・協力（復興の姿、観光名所・食材等地域の魅力のPRなど）
- ・ 被災地での更なる機運醸成に向けた取組の検討・実施

(3) 選手村内の主な飲食提供場所の一覧

平成31年4月9日(火) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における日本の食文化の発信に係る関係省庁等連絡会議(第5回)
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 資料(抜粋)

	メインダイニング	カジュアルダイニング	Grab & Go	スタッフダイニング
提供内容	・選手団へ飲食を無償提供する拠点 ・過去大会と同等レベルの食事を提供	・日本食や地域特産物を活用した食事の提供	・時間の無い選手及び選手団役員がテイクアウトできる軽食等を提供	・現場調理したホットミールを提供(スタッフの多様な食習慣にも配慮)
設置エリア	居住ゾーン	居住ゾーン	居住ゾーン	居住ゾーン
主要な利用者	各国地域選手及び選手団	各国地域選手及び選手団	各国地域選手及び選手団	スタッフ
席数	4,500席	400席	-	800席
1日最大食数想定	45,000食/日	3,000食/日	1,500食/日	10,000食/日
オープン時間(想定)	24時間	午前6時～午後9時	午前7時～午後2時 (競技スケジュールに合わせ、柔軟に対応)	朝食、昼食、夕食、深夜食に時間帯を分けてオープン

参考資料2

食材供給に関する意向調査結果（要約版）

2018年10月現在(単位：t)

品目	主食	野菜類		果実類	肉類等	魚介類
		きのこ類				
組織委試算(※)	135	215		78	128	38
食材量	12,486	28,526		721	67,500	9,725
		16,064	12,462			
主な品目例 (上位5種)	米 12,222	たまねぎ 5,283	まいたけ 5,554	りんご 209	卵 39,756	さば 2,537
	大豆 112	レタス 2,562	ぶなしめじ 3,966	なし 199	鶏肉 22,265	ぶり 1,520
	小麦 110	ばれいしょ 1,395	えりんぎ 1,596	すいか 88	豚肉 4,638	いわし 1,440
	そば 34	キャベツ 1,343	しいたけ 927	もも 63	牛肉 841	さけ 925
	大麦 8	にんじん 969	えのきたけ 247	メロン 49		ほたて 916

【補足】

・本意向調査は、大会期間中(2020年7月中旬～9月中旬)に供給可能な食材の量を都道府県を通じて把握したものであり、本意向調査結果における品目ごとの数量を、大会組織委員会試算(「大会の選手村規模の飲食で必要となる食材量」(2017年8月7日 第5回飲食戦略検討会議資料))との比較で整理し、主な品目例として上位5種を表示したもの。

・要約版の取りまとめに当たっては、各都道府県がリストアップした大会への供給意向がある食材のうち、調査対象としている「持続可能性に配慮した調達コード」を満たしたもの（認証等の取得予定を含む）の数量について、供給意向数量単位の統一等の補正を加えたほか、一部の品目については、換算係数等を用いて重量換算を実施。なお、野菜類に含まれるきのこ類については、一定量の意向が示されたことから、別に表示。

・「レタス」にはオーグリーフ、グリーンリーフ、サニーレタス、フリルレタス、リーフレタス、レタス、ロメインレタスを含む。

・「なし」には日本なし、西洋なしを含む。

・「さば」にはまさば、ごまさばを、「いわし」にはまいわし、かたくちいわしを、「さけ」にはさけ（しろざけ、秋さけ）、ぎんざけ、サーモンと記載のものを含む。

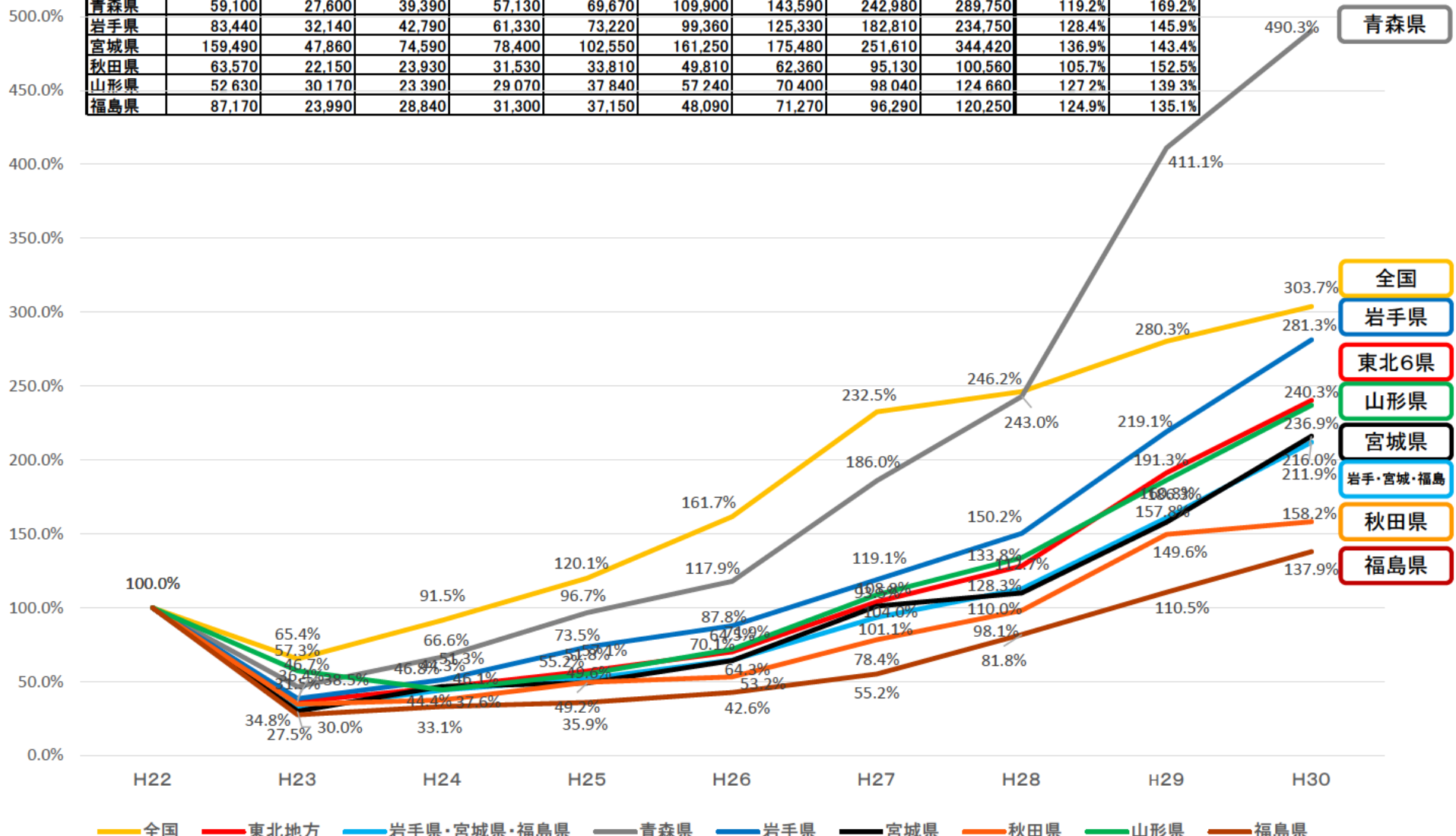
・本表に記載のない品目については、別表「全品目リスト」を参照。

・その他、調達基準の推奨事項である有機、農福連携、農業遺産、農場HACCP、エコフィード、放牧畜産により生産された食材についても供給意向が示されたところ。また、高校や農業大学校等の農業教育機関からの意向も示されたところ。

東北地方における外国人延べ宿泊者数(H22年比)

(人泊)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30/H29 年間比	H29/H28 年間比
全国	26,023,000	17,015,780	23,822,510	31,242,220	42,072,820	60,509,240	64,066,730	72,933,660	79,038,520	108.4%	113.8%
東北6県	505,400	183,910	232,930	288,760	354,240	525,650	648,430	966,860	1,214,390	125.6%	149.1%
岩手県・宮城県・福島県	330,100	103,990	146,220	171,030	212,920	308,700	372,080	530,710	699,420	131.8%	142.6%
青森県	59,100	27,600	39,390	57,130	69,670	109,900	143,590	242,980	289,750	119.2%	169.2%
岩手県	83,440	32,140	42,790	61,330	73,220	99,360	125,330	182,810	234,750	128.4%	145.9%
宮城県	159,490	47,860	74,590	78,400	102,550	161,250	175,480	251,610	344,420	136.9%	143.4%
秋田県	63,570	22,150	23,930	31,530	33,810	49,810	62,360	95,130	100,560	105.7%	152.5%
山形県	52,630	30,170	23,390	29,070	37,840	57,240	70,400	98,040	124,660	127.2%	139.3%
福島県	87,170	23,990	28,840	31,300	37,150	48,090	71,270	96,290	120,250	124.9%	135.1%



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。

※平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値。

(出典:観光庁宿泊旅行統計)